

令和3年度 3学期始業（1月7日）

3学期の始業式は1月6日(木)に予定されていましたが、この日は伊東市内に雪が降り、夕方には大雪になってしまいました。学校の前の道路も滑って動けない車がいて渋滞となり、バスも夕方まで運休になるほどでした。そのため、臨時休業となり、1月7日(金)に始業式と短縮授業を行うことになりました。



新型コロナウイルス感染症の新規陽性者数は10月から激減していたのですが、1月から再び急増し始め、オミクロン株が猛威を振るっています。

1月22日(土)に沼津市民文化センターで行う予定だった東部合同文化祭に向けて準備を進めてはいたのですが、1週間前になって中止が決定されました。生徒会や各クラス、美術や家庭科の授業、美術部などでも出展にむけて用意していましたが昨年引き続き中止になってしまい残念でした。

また、本校の目玉行事の一つである魚のおろし方教室も直前に中止が決まり、昨年度行ったような講演会も実施することができませんでした。来年度こそは様々な学校行事が開催できることを願っています。

百人一首大会（1月18日）

今年も密を避けるために、クラスごと各教室に分かれて実施しました。

覚えている札がある生徒が目をつけていた札を取ろうと集中していました。また、下の句を聞いてもなかなか札が見つからないこともありましたが、参加した生徒はみな楽しく取り組めて、クラスの親睦を深めていたと思います。



静岡県東部高等学校定時制生徒合同文化祭の代替校内展示（1月25日）

東部合同文化祭は中止になってしまいましたが、展示発表に向けて準備していた作品を会議室にならべて、学年別に作品を鑑賞しました。

生徒全員で制作した生徒会作品（ペットボトルキャップを使ったモザイク画）は県東部・伊豆半島を描いた作品で、東部定時制高校の位置を赤いキャップで示しています。会議室中央に配置しました。



令和4年度 前期 生徒会役員選挙（2月8日）



会長に3名、副会長に1名が立候補し、演説会と投票が行われました。

選挙の結果、
 生徒会会長 山本宗孝さん（2年）
 生徒会副会長 稲葉大和さん（2年）
 が選ばれました。

卒業生を送る会（2月28日）

2月28日に生徒会主催の卒業生を送る会が催されました。

転勤された先生方から卒業生へのビデオレターやメッセージが披露されました。

また、在校生が装飾した写真フレームに卒業生のクラス写真を入れたものとクッキーを卒業生にプレゼントしました。



卒業証書授与式・同窓会入会式（3月1日）



卒業生一人ひとりに校長先生から卒業証書が授与されました。校長先生は式辞で、上司の命令に忠実で自分で考えることを放棄し多くのユダヤ人を強制収容所に送ったナチスドイツの幹部アドルフ・アイヒマンと法や命令に反して多くのユダヤ人にビザを発給し続け結果として6000人以上の命を救ったリトアニア日本領事館の杉原千畝を対比し、自分の頭で考えることの大切さについてお話しされました。

最後に卒業生へ向けて「考えろ」と力強いメッセージを贈りました。



卒業生表彰

〔全国高等学校定時制通信制教育振興会会長賞〕

〔伊東商工会議所会頭賞〕

〔本校定時制通信制教育振興会会長賞〕

文化活動功労賞

体育活動功労賞

特別賞

山本 蒼真さん

蛭川 泰希さん、山下 隼さん

蛭川 泰希さん

蛭川 泰希さん

久保谷 瑛二さん

卒業生皆勤賞・精勤賞

〔4カ年精勤賞〕

久保谷 瑛二さん、清水 ひなさん、山下 隼さん

在校生表彰

〔東部定時制合同文化祭ポスター原画コンクール最優秀賞〕

1年 宮下 若菜さん

在校生皆勤賞・精勤賞

〔1カ年皆勤賞〕

2年 藤牧 晃太さん

〔1カ年精勤賞〕

3年 太田 瑛士さん

2年 小川 聖栄さん、河本 みさきさん、寺田 慎さん

1年 宮下 若菜さん

総合コンクール〈年間総合成績〉

順位	学年	氏名	順位	学年	氏名
1	4	蛭川 泰希	6	3	山口 美羽菜
2	4	山本 蒼真	7	3	伴 優孝
3	1	梅原 瑠菜	8	3	稲葉 陸人
4	2	山本 宗孝	9	4	清水 ひな
5	2	稲葉 大和	10	2	小川 聖栄

令和3年度卒業生答辞

厳しい冬の寒さも和らぎ、春の訪れを感じられる今日、私たちは卒業式を迎えることができました。校長先生をはじめ、ご来賓の皆様からお祝いのお言葉をいただき、心からお礼申し上げます。私たち卒業生一同は、皆様のお言葉を深く心にとどめ、明日から新しい第一歩を踏み出します。

私は過去に全日制の高校に通っていましたが、卒業することに意味を見出せず一度中途退学し、同世代より早く社会に出ました。しかし社会人として過ごしていく中で自分の本当にやりたかったことを見つけ、その夢のために、二十四歳のときにこの伊東高校定時制に入学しました。

私が入学してから辛くもあり楽しくもあったことは、環境の変化に対応することです。「仕事に行って帰る」だけの生活が「仕事が終わった後に登校する」に変化したこと。これに慣れるまでにかなりの時間を要しました。入学当初は、私は、自分が周りの生徒達とは年代が違うことを気にして閉鎖的でした。ですが、先生や先輩、後輩、クラスみんなが気軽に接してくれたため、学校がづらい環境から楽しい環境に変化しました。一年生のころ、バドミントンに興味を持ったとき、ある先輩から「練習おいでよ」と声をかけてもらいました。この一言がきっかけで、バドミントンに取り組むようになり、三・四年生のころには、大会に出場するようにもなりました。この四年間の学校生活で学んだことは、勉強だけではなく、自分にとってどんな辛い環境があったとしても、それを楽しい環境に変えられるかどうかは、自分次第だということです。

在校生の皆さん、今まで私たちを支えてくださり、本当にありがとうございました。皆さんと過ごした日々は、私たちにとってはかけがえのない思い出となっています。一年後に卒業していく三年生、卒業なんてまだまだ先のことだと思っている一年生。四年間はあっという間です。きっと皆さんも卒業する頃にはそう感じると思います。だからこそ、勉強や部活動はもちろん、友達と過ごす時間さえも大切に、一日一日を過ごしていただきたいのです。その中で、様々な困難にぶつかることと思います。しかし、皆さんは一人ではありません。保護者の方々や地域の方々、そして伊東高校定時制の先生方や友達など、たくさんの方々が見守ってくださっています。そのことに感謝し、もし何かあったときは決して一人で抱え込まずに相談してみてください。きっと親身になって、話を聞いてくださると思います。皆さんの助けになるアドバイスをしてくださるに違いありません。そして、そんな皆さんの力でこれからもたくさんの人に応援していただけるような伊東高校定時制を築いていってほしいと思います。

別れは辛くもありますが、伊東高校定時制の卒業生として恥ずかしくないよう未来へ向けて、私達卒業生は精一杯羽ばたきます。どうかこれからも、私たち卒業生のことを見守っててください。

最後にはなりますが、多くの方々からのご支援があり、今日、私達は卒業式を迎えることができました。この場をお借りし、お世話になった先生方、家族、そして私達を応援して下さった全ての方々にお礼申し上げます。そして、今後の伊東高校の発展と、在校生の皆様のますますのご活躍をお祈りし、答辞とさせていただきます。

令和四年三月一日
卒業生代表 蛭川 泰希

新年度当初の予定

- 4月6日(水) 始業式 新任式 入学式準備
- 7日(木) 入学式 (2・3・4年生は家庭学習日)
- 8日(金) 個人写真撮影・身体測定 面接週間(短縮日課)15日(金)まで
- 12日(火) 対面式
- 19日(火) 生徒総会

離退任される先生

平松 伽奈子 先生 (美術) 御退職